

三菱バス乾燥・暖房・換気システム (壁掛タイプ)

形名
V-161BKA-RN

バスカラット

据付説明書

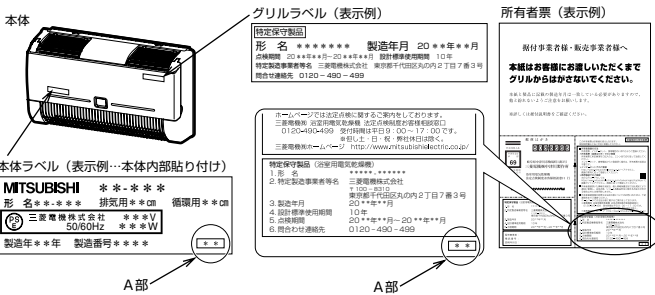
販売事業者・据付事業者さま用

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者様は点検期間に点検を行う(有償の法定点検)などの保守を行うことが求められている製品です。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者様は、製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する責務(消費生活用製品安全法第32条の8第1項)が定められています。

据付事業者様へ

- 本体とグリルと所有者票の製造年月を合わせる為下記の確認を行って設置をお願いします。
 - 1) 本体ラベル、グリルラベルと所有者票の「形名」が同じであること
 - 2) 本体ラベルと所有者票の「A部」が同じであること
 - 3) 所有者票とグリルラベルの「製造年月」が同じであること
- 所有者票はグリルにテープで貼付けてあります。設置が完了するまでグリルに貼付けたままとしてください。



■別冊の取扱説明書は所有者様用ですので、必ず所有者様にお渡しください。

販売事業者様へ

- 付属の取扱説明書と所有者票(グリルに貼り付け)は、所有者様(消費者様、賃貸業者様)にお渡しください。
- グリルラベルと所有者票に記載されている「形名」「製造年月」が不一致にならないよう所有者様にお渡しください。
- 所有者様(消費者様、賃貸業者様)に対し所有者票に記載されている法定説明事項をご説明いただく義務(消費生活用製品安全法第32条の5第1項)と、所有者情報の提供にご協力いただく責務(消費生活用製品安全法第32条の8第3項)が定められていますので、ご協力をお願いします。

- 本製品は消防法基準適合品です。
- 本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
- 設置を始める前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 電気工事は、販売事業者・据付事業者様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(お客さま自身で設置しないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています。)

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。(本製品は(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

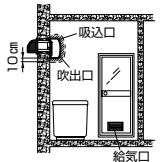
警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
-----------	----------------------------------	-----------	------------------------------------

警告	<p>禁止</p> <p>内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因。</p> <p>分解禁止</p> <p>改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。</p> <p>交流 100V を使用する 交流 100V 以外で使用すると火災や感電の原因。</p> <p>指示に従う</p> <p>メタルラシ張り、ワイヤラシ張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルラシ、ワイヤラシ、金属板とが電気的に接触しないように取付ける 漏電した場合、発火の原因。</p> <p>アース確認</p> <p>アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける 故障や漏電のときに感電の原因。</p>	注意	<p>禁止</p> <p>直接炎のあたるおそれのある場所には取付けない 火災の原因。</p> <p>本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける 落下によりけがの原因。</p> <p>電源コードの接続は確実に行う 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因。</p> <p>電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</p> <p>衣類吊下げ用パイプ(市販品)は、本体から450mm以上離して取付ける 本体に近づけすぎると、衣類が変色・変質したり、十分な衣類乾燥効果が得られない原因。</p> <p>部品の取付けは確実に行う 落下により、けがの原因。</p> <p>取付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因。</p> <p>取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</p>
-----------	--	-----------	--

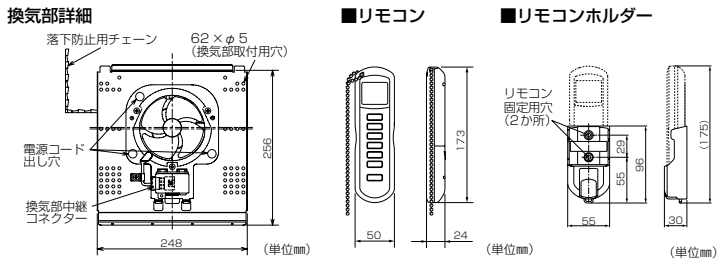
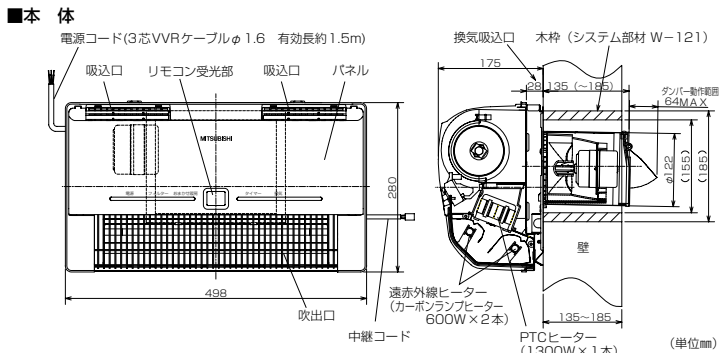
取付け前のお願い

- この製品は、戸建て住宅の浴室または脱衣室の壁面取付け専用です
集合住宅でのご使用、浴室または脱衣室以外の場所への設置、天井面への取付けはしないでください。
- 製品の質量は約9.3kgです
取付ける壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。状況によっては補強や追加の部材が必要になることがあります。
- リモコンは浴室にも設置できますが、浴槽の上や直接お湯や水がかかる場所には取付けしないでください
故障の原因になります。
- 本製品は特定保守製品であり後日点検が必要になります。点検を実施できるように設置時には下記点にご注意いただき設置をお願いします
●電源配線の接続部分がある中に入り、後日点検できない場所に配置されないようにしてください。
●製品を点検修理できない場所には設置しないようにしてください。
●製品の取付部には接着剤や両面テープ等、製品の取り外しが困難になるようなものは使用しないでください。
- 製品の取付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください

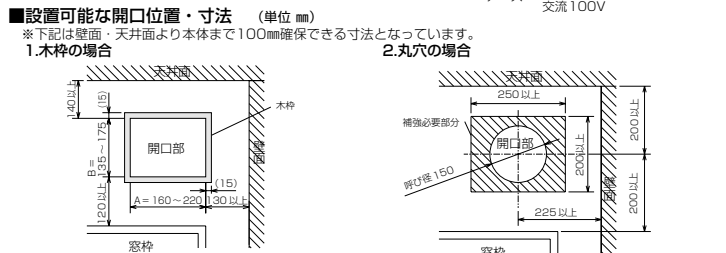
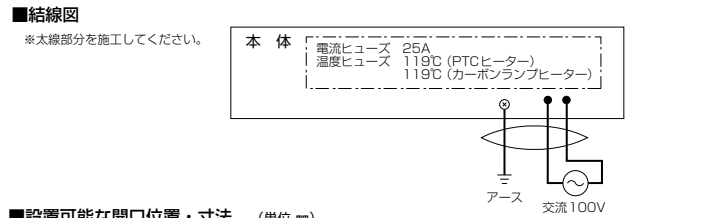
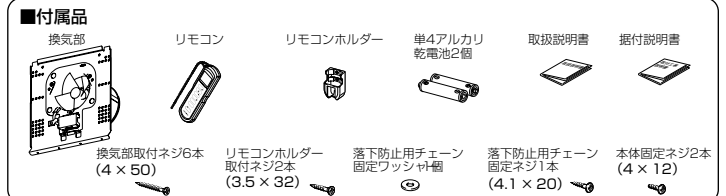
- 地域により防災上の制限(火災予防条例に基づく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問い合わせください。
- 指定する寸法で設置すること。
 - 本体は壁面に堅固に取付けること。
 - 浴室内の温風吹出口および空気吸込口前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けない。
 - 漏電しゃ断器を設けること。
 - 浴室換気扇からの取替の場合、漏電しゃ断器の電流容量(20A)と電源電線の太さ(φ2.0mm)を確認し、不適合の場合は交換してください。



各部のなまえと寸法 (外形寸法図)



●お願い リモコンは生活防水(JIS C 0920 保護等級5相当)となっていますが、浴槽の上や直接水がかかる場所には設置しないでください。



■現地準備していただく部品			
交流 100V 電源電線	600V 定格、VVF ケーブルφ2	適宜	
アース線	銅線直径φ1.6以上(または断面積が1.25mm ² 以上)	適宜	アース工費
アース棒		適宜	
屋外ウェザーカバー	P-120CVP	適宜	外壁面取付け用
防水ジョイントボックスまたは防水コンセント		1個	
木枠	W-121	適宜	本体取付け用(角欠取付の場合)
衣類吊下げ用パイプ	耐荷重4kg以上 不燃性、耐食性のあるもの	適宜	衣類乾燥用

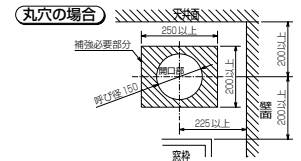
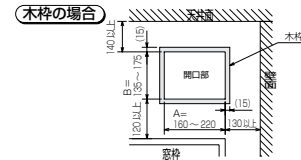
取付方法

1 取付け前の準備

既存の換気口を利用する場合

- 1 既設の換気扇または換気ガレリを取りはずす
- 2 右図に示す開口があることを確認する
 - 開口は天井や壁面から所定の位置が確保できていることを確認する。
 - 設置できない場合や法規制を満足できない場合があります。

■設置可能な開口位置・寸法 (単位 mm)
*下記は壁面・天井面より本体の温風吹出穴および空気吸込口まで100mm確保できる寸法となっています。



新規に開口をあける場合

- 1 ヒーターの輻射が洗い場側に向くように開口の位置を決める (例: 洗い場より中央付近)
 - ヒーターの輻射角は垂直面に対し約45度です。
- 2 浴室の壁面に角穴または丸穴をあける
 - 角穴の場合は、当社システム部材の木枠(W-121)を使用する。製品質量約9.3kgのため、木枠は浴室の壁面にしっかりと固定してください。木枠の取付けは木枠の説明書をお読みください。
 - 丸穴の場合は壁厚に応じて接続パイプ(呼び径150)をご用意ください。

[単位 mm]

壁厚 > 185	一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	呼び径 150
壁厚 ≤ 185	塩化ビニル管の薄肉 (VU) または一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	

- 使用する接続パイプより開口寸法が異なります。
- 雨水の浸入等を防ぐため壁穴とダクトとのすき間のコーティングは確実に行ってください。
- 背面は十分な補強を行ってください。
- 壁厚 > 185 mmの場合は屋外に向けて下り勾配になるように1/100の傾斜をつけてください。(雨水の浸入防止)

警告

メタルス張り、ワイヤス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、ワイヤス、金属板とが電気的に接触しないように取付ける漏電した場合、発火の原因。

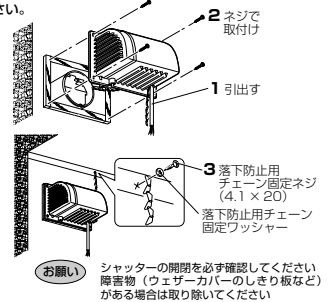
注意

- 製品の下方には耐熱温度の低い物が配置されないように設置する
ヒーターの熱により変形や変色する原因 (照明・窓枠・棚等)。
- 浴室の壁の耐熱温度が低い場合は、製品側面と浴室の壁の距離を十分に確保する
ヒーターの熱により変形や変色する原因。

4 ウェザーカバー (システム部材) の取付け (屋外用)

雨水の浸入を防ぐため、ウェザーカバーは必ず取付けてください。

- 1 ウェザーカバーのコード穴から電源コード・落下防止用チェーンを取り出す
 - コード穴が小さい場合は、別途穴あけが必要です。
- 2 外壁面側にウェザーカバーをネジで取付ける
 - くわしくは、ウェザーカバーの説明書をご覧ください。
- 3 外壁面側の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける
 - 落下防止用チェーンは、ワッシャーにネジを通して木枠以外のしっかり補強された部分に取付ける。万一のための落下防止用です。
 - 落下防止用チェーンは、たるまないように取付ける。



5 電気工事

- 電源接続は必ず屋外側で行う。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続する。
- 漏電しゃ断器は20Aのものを使用する。
- フラグの使用、コンセント部分への差し込みはしない。
- 壁スイッチを経由した電源の接続はしない。
- 壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- D種接地 (アース) 工事を確実に行う。
- 付属の電源コードの白色側を屋内配線の接地側に接続してください。
- 屋内配線に使用する電線はφ2.0mmを使用する。屋外配線に使用する電線はφ2.0mmを使用する。径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。

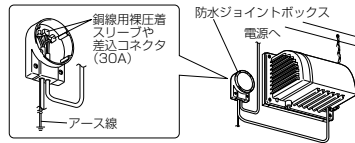
警告

- 交流100Vを使用する
- アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を取付ける (感電や火災の原因)

注意

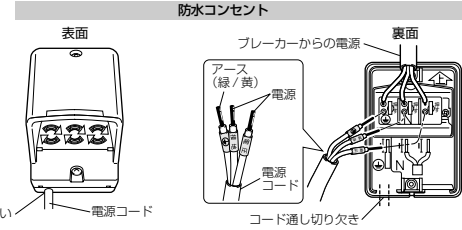
- 電源コードの接続は確実に行う
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う (火災や感電の原因)

■防水ジョイントボックス (市販品) 内で結線する場合



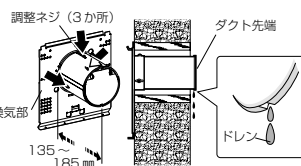
■防水コンセント (市販品) の連結端子台に接続する場合

- 電源コードの先端を、防水コンセント裏面の連結端子台に直接接続する。



2 換気部の取付け

- 1 壁厚に合わせてダクト部分の調整ネジを緩めて調整し、ネジを固定する (壁厚135~185mmの間は調整可能)
 - ダクトの先端が屋外側に出るように位置を決める。
 - 位置決め時に生じる長穴のすき間、パイプのあわせ部のすき間はアルミテープ (市販品) でふさぐ。



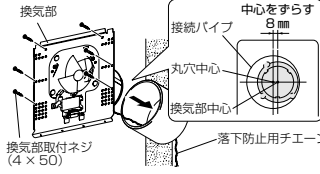
- 2 落下防止用チェーンを開口部に通し、換気部を取付ネジ6本で固定する

角穴の場合

- ネジ締めの位置は、なるべく木枠の厚みに対し中央にある穴を使用して取付ける。
- 木枠に付属の取付ネジを使用する。

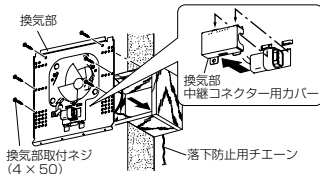
丸穴の場合

- 取付ける壁面は十分な補強を行ってください。
- 丸穴の場合は電源コードを通すため、開口穴の中心をずらして (約8mm) 取付ける。
- 付属の取付ネジを使用する。
- 壁がタイルの場合はタイルが割れないよう目字にステンレス製のタイル用のネジ (市販品) 6本で固定する。



角穴・丸穴共通

- 外気逆流防止のため、不要な穴はアルミテープでふさぐ。
- 水平に取付ける。本体が傾くとヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。

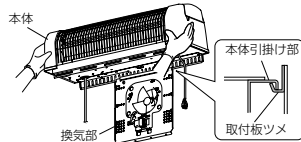


- 3 換気部中継コネクタ用カバーを取りはずす

3 本体の取付け

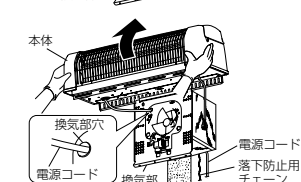
- 1 本体の引掛け部を換気部の上部ツメに引掛ける

- 本体は左右200mmスライドできます。適切な位置を確認します。
- 本体が換気部からはみ出さないように引掛けます。
- 確実に引っ掛けていることを確認します。

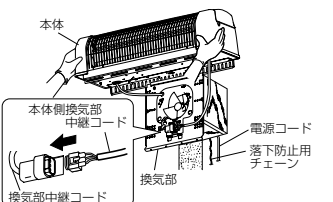


- 2 本体を手前に持ち上げて、電源コードを換気部の穴に通して押し込む

- 本体を手前に持ち上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持ち上げてください。



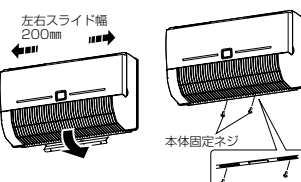
- 3 本体を手前に持上げた状態で、本体側の中継コネクタを換気部側の中継コネクタに差し込む
 - カチッと音がするまでしっかり挿入する。



- 4 換気部中継コネクタ用カバーを取付ける

- 5 本体下部と換気部を付属ネジ2本で固定する

- 本体を換気部に降ろす際、電源コードがかみ込まないように注意する。
- 本体のスライド位置により、ネジ固定位置が異なります。



6 リモコンホルダーの取付け

- 1 リモコンに付属の単4アルカリ乾電池2本を入れてフタをする
 - フタはしっかりと取付けてください。

- 2 リモコンホルダーを付属のネジ2本で固定する

- リモコンは生活防水 (JIS C 0920 保護等級5相当) ですが、浴槽の上や直接水やお湯がかかる位置には取付けしないでください。
- 浴室に付けるか、脱衣室に付けるかはお客さまと相談して決めてください。

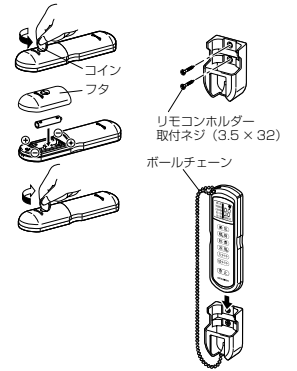
浴室に付ける場合

- リモコンはホルダーに入れたままでもスイッチが押せます。なるべくホルダーに入れたままでも本体を操作できる位置に取付けてください。
- チェーンを付けた状態でリモコンが床に届かない高さを取付けてください。
- 浴槽の上や直接お湯や水がかかる場所には取付けしないでください。
- ネジ穴は必ずコーティング処理を行ってください。

脱衣室 (浴室以外) に取付ける場合

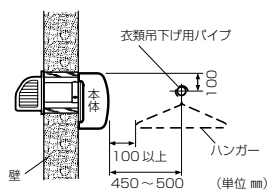
- チェーンをはずして使用してください。

- 3 リモコンをホルダーに取付ける



7 衣類吊下げ用パイプ (市販品) 取付け

- 右図の位置に取付ける
- パイプ (市販品) は、1本当たり耐荷重4kg以上で、耐油性・不燃性のものを使用する
- また、取付け部分が十分に強度のあることを確認してください。
- パイプの取付け位置は必ず図の寸法で取付ける
- 指定以外の寸法で取付けると、乾燥時間が長くなります。
- 本体から吊下げパイプまでの距離は450mm以上離し、かつ、ハンガーを掛けたとき100mm以上確保できる寸法で取付けてください。
- 近づけると衣類の変色や変質の原因になります。



試運転

- 設置が終了したら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客さま立ち会って全運転モードの試運転を行い、下記をご確認ください。

- 1 本体は確実に取付けられていますか?
- 2 リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか?
- 3 換気ファンは運転していますか?
 - 換気部中継コネクタが正常に接続されていないと運転しません。
- 4 運転中に振動や異常音がありませんか?

- 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、この「据付説明書」は別冊の「取扱説明書」とともにお客さまにお渡しください。

三菱電機株式会社

■平日 9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)
三菱電機 換気送風機技術相談センター 電話 0120-726-471 (無料) 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場1番3号
■その他の時間
三菱電機 お客さま相談センター 電話 0120-139-365 (無料) 〒154-0001 東京都世田谷区池袋3-10-3

この説明書は、再生紙を使用しています。